令和８年１１月３日（日本時間)、日本政府は令和８年秋の叙勲受章者を発表しました。タジキスタンからは外国人叙勲として以下の方がその功績により叙勲を受章されます。

シャリフ・ハキムゾダ（Sharif HAKIMZODA）氏
タジキスタン共和国下院議員
タジキスタン日本友好議員連盟会長

勲等：旭日中綬章
功労概要：日本・タジキスタン間における相互理解及び友好関係深化への貢献

現職の下院議員であり、２０２０年（令和２年）より日本タジキスタン友好議員連盟会長を務め、２０２５年に下院議員２期目に当選後も、その日本との関係促進の功績が評価され、友好議員連盟会長に再任されました。
同連盟会長として、日本とタジキスタンの議員間交流、相互理解、友好関係の深化に多大なる貢献を行いました。また、２０２５年１２月の「中央アジア＋日本」対話、二国間首脳会談の開催に向けた環境・土台作りにも寄与されました。

外国人叙勲とは、我が国との友好の増進等について顕著な功労のあった外国人に大使、天皇陛下の名において授与されるものです。また、茂木敏充外務大臣からも祝辞が届いております。
今後、ドゥシャンベにおいて古田恵子駐タジキスタン日本国特命全権大使により同氏に対する叙勲伝達式が行われる予定です。